

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	郷土資料館展示事業			基本 計 画	章	1	総合 戦 略	基本目標	
事業コード					節	6		施策の方向	
課係名	美術館・郷土資料館	内線			項	2		施策	
担当者氏名		職名			細項目	1		整理番号	

事業概要
 茂原市は、明治時代より天然ガス産業の発展により栄えてきた。平成30年度、明治150年を記念テーマ展の中で茂原の天然ガス産業の始まりを取り上げたが、十分な展示とは言えず、充実した常設展示を作る必要がある。このため、市民が目で見えてすぐイメージが把握できるように、上総掘り採掘現場模型の製作購入や、資料を常時展示できるアクリルケースの購入、写真パネル・解説パネルの制作やその展示に必要な脚付ボードの購入を実施するものである。民間で既の実施している「天然ガス検定試験」と連携していけば、茂原の近代産業史についての理解が深められるだけでなく、茂原のPR、郷土資料館への来館者の増加の効果も期待できる。

現在の課題や市民要望など
 茂原の近代産業史の資料、展示品の充実が課題となっている。

- 事業目的**
- ① 茂原市の天然ガス産業を広くPRしていくため、郷土資料館常設展示の天然ガスコーナーを充実させる。
 - ② 天然ガスコーナーの目玉に、上総掘り採掘現場を復元した模型を製作する。
 - ③ 天然ガスの映像資料・写真からパネルや解説文を製作する。
 - ④ 常時資料を展示するためのアクリルケースや、パネル等を設置する脚付穴あきパネルを購入する。
- 個別取組**
- ① 物品購入契約業務
 - ② 郷土資料館展示計画立案
 - ③ 関連資料の収集、市への寄託の依頼
 - ④ 郷土資料館での展示

- 事業による改善・変更点**
- ① 茂原の近代産業史関連展示の充実
 - ②
 - ③
 - ④

事業対象

個人・世帯 団体(民間) 団体(公共) 内部管理 その他 ()

内容

- ① 充実させた茂原の近代産業史の展示
- ② 学芸員による展示説明、出前講座の実施
- ③ 関連資料の展示、保管管理
- ④

業務形態

全部委託 一部委託 直営 負担金・交付金 その他 ()

内容

- ① 上総掘り採掘現場の模型制作の委託
- ②
- ③
- ④

支出根拠

有 無 法令要綱等名称 ① 博物館法第3条 ② 美術館・郷土資料館管理条例第4条 ③ ④

事業継続

単年度 複数年度:無期 後年度負担 有 無
 複数年度:有期[始期 ~ 終期] 内容 管財の建物共済(損害保険)

事業費の積算	2年度	・上総掘り採掘現場模型	3,000,000円	事業費	7,784,700	事務スケジュール	年月	内容
		・模型展示ケース 1台	400,000円				国 県	2/7 物品購入契約
		・アクリル展示ケース2台	1,600,000円				市 債	2/12 物品納入
		・ボード 10枚	358,000円				そ の 他	3/1 展示
		・ボードの脚 20本	410,000円	一般財源	7,784,700			
		・ボードのフック 40個	6,000円	事業費				
		・解説パネル 3枚	30,000円	国 県				
		・写真パネル 30枚	180,000円	市 債				
		・設計費・運搬費・諸経費	1,093,000円	そ の 他				
		・消費税	707,700円	一般財源	0			
		・合計	7,784,700円	事業費				
				国 県				
				市 債				
				そ の 他				
				一般財源	0			
				事業費				
				国 県				
				市 債				
				そ の 他				
				一般財源	0			

経費節減効果

有 無 節減効果の内容

主要指標	指標の種類	名称	計算方法	目標(推計)値		
				2年度	年度	年度
■ 活動	①	物品購入契約業務	契約金額	物品購入契約		
		②				
■ 成果指標	①	茂原の近代産業史の展示	展示数	展示		
		②				

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつきの
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	千葉県は、天然ガスの宝庫で知られる。茂原は明治時代から天然ガスの開発によって発展してきた歴史がある。現在、民間では「天然ガス検定試験」が行われており、郷土資料館での展示と連携することで、茂原全体をアピールすることもでき、郷土資料館の集客力にもつながる。自治体が関与すべき事業である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	天然ガスは茂原の近代産業の発展に寄与してきた。今では「天然ガス検定試験」が行われているなど、市民にとって身近な存在である。この天然ガスの歴史の学びの場を提供することは大いに意義がある。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	模型や展示ケースについては、管財課所管の建物共済に登録する必要があるが、その他は将来的な負担はない。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	茂原が天然ガスの恩恵を受けてきたにも関わらず、その関連収蔵品が少なく、その歴史的事実について市民に伝えきれていないため、これを改善することは急務である。	
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
C	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	茂原の近代産業史は専門的な分野であることから、市民からの要望は少ないが、電話や窓口により学芸員に対する問合せはある。天然ガスが茂原に果たしてきた役割を分かり易く展示し説明することは茂原市の郷土資料館の責務である。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
<p>大多喜町に、天然ガス記念館があるが、模型とパネルだけの展示である。過去に前県立上総博物館(現在木更津市郷土博物館「金の鈴」で「房総の天然ガス100年」の企画展を実施している。県内の天然ガスに関する展示品を収集展示したものであるが、当市からも展示資料を提供している。</p>			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価	◎評価理由	
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	事業の緊急性に疑問があり、優先順位は低いものとする。また、一般財源で全てを賄うには厳しい財政状況であるため、見送るものとする。
	■政策調整会議による評価		
評価		◎評価理由	
C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	事業の費用対効果について疑義があり、一般財源で全てを賄うのは現在の財政状況を考慮すると厳しいため、見送るものとする。	
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	実施を見送るものとする。	